

100年の安心に、こたえる

**KIRII**

天井裏の作業足場設置用金具

# ASクランプ-MS

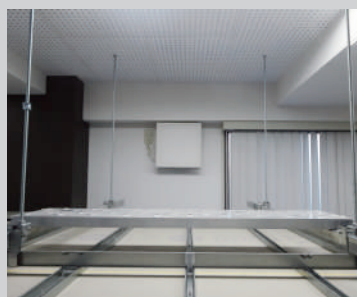
吊りボルトの任意の高さに使用できる作業足場設置用金具です。

中間挿入式ナットを使用することで、高さを自由に変えられるため、階段状の足場設置が可能です。

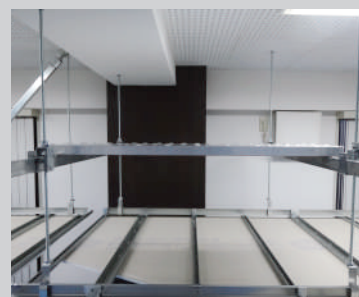
## >>> 特徴

- ・ 吊りボルトの任意の高さに設置可能
- ・ 角パイプを使用することにより足場板を確実に支持（足場板と角パイプは固定を前提とします）
- ・ 単管も取り付け可能（単クランプ併用）
- ・ 施工が容易（鋼製下地業者以外でも施工可能）
- ・ 後施工が可能
- ・ 使用後、転用可能

ASクランプ（従来品）

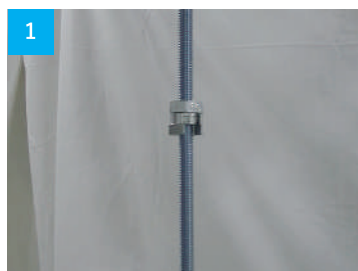


ASクランプ-MS



## >>> 取付手順（角パイプ仕様）

1



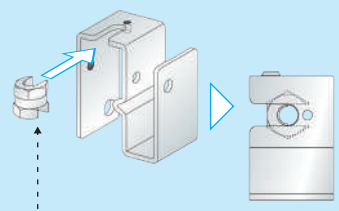
中間挿入式ナットを  
足場設置位置に取付ける

2



AS クランプ-MS を吊りボルトに  
差し込み、スライドさせ設置する

⚠ ナットの向きに注意



ASクランプ-MSの突起と  
ナット最上段の開口を合わせる

3



AS クランプ-MS 上部に  
中間挿入式ナットを取付ける

4



角パイプ（40×20×1.6）を設置し、  
アプセットボルトを締め付ける

5

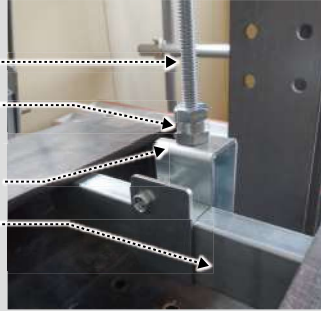


完成

## >>> パーツ試験(角パイプ仕様)

### 使用部材

- ・ 吊りボルト：3分ボルト
- ・ 中間挿入式ナット：SNE-W3
- ・ 足場用金具：  
ASクランプ-MS+M6ボルト
- ・ 角パイプ：□40×20×1.6

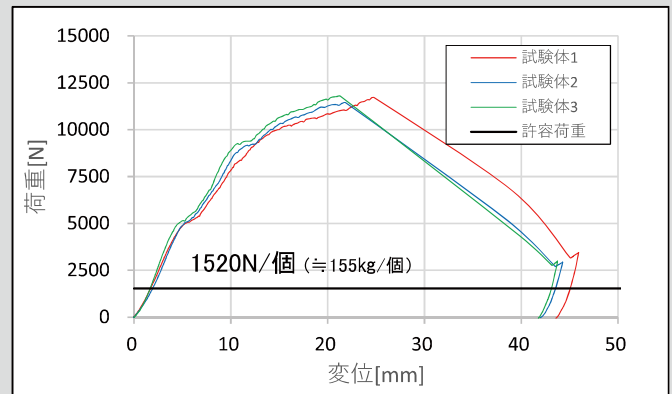


### 試験方法

足場用金具に取付けた角パイプを試験治具に固定し、吊りボルトを鉛直上向きに加力した時の荷重とシリンダーの変位を計測する。



### 試験結果



**許容荷重 = 155.0 kg/ 個**

※単管仕様の場合：許容荷重 = 76.0 kg/ 個

## >>> 別途手配品

- ・ 中間挿入式ナット  
ネグロス電工(株) SNE-W3  
ASクランプ-MS固定用



- ・ スモール角パイプ  
STKMR 40×20×1.6  
足場板支持用



- ・ 足場板固定部材（足場ゴムバンド、番線等）  
足場板と角パイプ固定用
- ・ 足場板

## >>> 注意事項

- 天井下地自体に乗ったり、ぶら下がったりすると落下、脱落によりケガをすることがあります。
- 施工にあたっては法令を遵守願います。（労働安全衛生法等）
  - ・ 労働安全衛生規則改正（平成 21 年 6 月 1 日）により足場等からの墜落防止等  
 施行例：手摺（高さ 85cm 以上の位置）+ 中さん（高さ = 35 ~ 50cm の位置）+ 下さん等（高さ = 10cm 以上）  
 下さん等：物体の落下防止措置の為に必要な幅木等
  - ・ 足場板は、金属製足場板の仮設工業会認定合格品として足場板の使用最大荷重を遵守願います。  
 （例 片面使用型：120kg、両面使用型：200kg）
  - ・ 足場板は、必ず 3 箇所以上の支持物（角パイプ）で受けてください。
  - ・ 足場板は、角パイプと強固に固定願います。（足場ゴムバンド等）
- 中間挿入式ナットは強固に締めつけ願います。
- 既存吊元強度を確認の上、本製品使用に対する安全性を確認してください。
- 足場板のはね出し部分には絶対に手をかけたり乗ったりしないように願います。
- 吊りボルトが垂直に垂れ下がっていることを確認願います。
- 足場板は、幅 40cm 以上、隙間 3cm 以下に願います。
- 足場板の上で脚立、はしご等を用いて作業はしないでください。
- 足場板の使用最大荷重に伴い、吊り元強度を確認願います。  
 （計算例：吊り元強度 > 足場板最大荷重 200kg ÷ 2 箇所支持 ÷ 2（吊りボルトが支持 1 箇所につき 2 本））
- 施工前に必ず部材の点検（部材の損傷・腐食、締結部のゆるみ状態の確認等）を行ってください。
- 施工には必ず保護帽及び安全帯等を使用願います。



施工動画を WEB で公開中

桐井製作所



CHECK!



お問合せ  
窓口

▶ ご不明な点はお問合ください

Tel: (03)4345-6004

(平日 9:00 ~ 17:30)

※本製品は受注生産品となります。  
※価格については営業所までお問い合わせください。

[ 取扱店 ]